

保健福祉企画総務課長 様

岡山市政策局事業政策課

課長 荒島 茂樹

岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員の
意見等について（報告）

下記施設整備事業について、平成25年2月22日岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員（以下「委員」という。）に意見を聴いた結果を報告します。

記

事業名 (整備概要)	岡山市古都地区コミュニティハウス改築工事	
委員からの意見	委員の意見に対する回答	
<p>～屋内共用部～</p> <p>○災害時に、NHK等の速報情報が視覚的に把握できる設備の設置を希望。非常灯に警報ランプを附属できるものもある。</p> <p>○部屋名表示や配置図は目線の高さで、大きい表示とする。配置図は各部屋の出入り口に設置を行い、部屋の出入口によって手すりが途切れた時に、部屋の用途が分かるように手すりに点字を設けてほしい。</p> <p>○玄関ドアがガラスの場合、衝突防止シート等を貼って、ガラス戸にぶつからないよう配慮をお願いしたい。</p> <p>○避難所にもなるので、大人・子供用の2段手摺りの設置、ビニール床の材質を防滑性で検討してほしい。</p>	<p>◎今後の参考にします。</p> <p>◎配置図や点字は未計画ですので、検討します。</p> <p>◎玄関はアルミ材質の手動ドアですが、ガラスが使用されています。認識できる色かシール等を設置する予定です。</p> <p>◎検討します。</p>	

○受付カウンターまで点字ブロックを延長してほしい。受付にはスリッパに履き替えて行くよう床見切が設計されているが、一般的には受付後に入室する。受付には下足で行けるよう床見切を一直線にしてほしい。

○玄関に1/45の傾斜がある。これがなければ、椅子・下足を受付側に設置できる。傾斜はポーチで吸収して、玄関はフラットにして配置を再検討してほしい

○受付カウンターの高さは健常者・車椅子利用者の両方に配慮してほしい。低くできない場合、地元の方の支援が必要となる旨を地元伝えてほしい。

○聴覚障がい者の中には三半規管にも障害を有する方がいる。玄関の靴の脱着用に椅子がほしい。また、立ち上がり補助のため椅子には片側に手すりを付けてほしい。

～会議室～

○生涯学習施設でもあるため補聴器に直接、マイク音を伝えたり、要約者の筆記内容をスクリーンに映すシステムの導入を希望。

～トイレ～

○多目的トイレの大便器は入口正面に。ベビーシートだけでなくユニバーサルシート（介護使用も可）の導入を検討してほしい。また、男子便所にもベビーシートを設けてほしい。

○トイレ入口と便器の動線上にベビーシートを設置する場合、可動式のベビーシートは降ろし放しにすることが多い。身障者等はぶつかりやすいため、動線を考えてほしい。

○男子トイレの扉はスライドドアへの変更が出来るので希望する。

◎地元意見を反映して、上履きに履き替えた後で受付をするイメージで配置しています。

◎下足位置等は地元要望を反映したものです。傾斜については検討します。

◎受付カウンターの高さは1 mです。支援の必要性を地元伝えます。

◎検討します。

◎今後の参考にします。

◎スペースの問題を考慮しながら検討します。

◎スペースの問題を考慮しながら検討します。

◎検討します。

<p>○通常の男子・女子トイレも可能な限り身障者が利用できるよう、各トイレの入り口を広めにとり、ドアも引き戸にしてほしい。</p> <p>○トイレの配置が分かるよう入り口に触知図を。</p> <p>○トイレの面台の奥行きは通常 10cm 程度だと思うが、20cm 程度にして物を置けるようにしてほしい。</p>	<p>◎今後の参考にします。</p> <p>◎検討します。</p> <p>◎今後の参考にします。</p>
<p style="text-align: center;">～和室～</p> <p>○和室の床は40cm程度上げてほしい。その方が車椅子使用者は使いやすい。</p>	<p>◎本物件は室内の床段差を設けませんが、今後の参考にします。</p>
<p style="text-align: center;">～外構～</p> <p>○現在の床版（橋）に縁石や柵がないため、設置を希望。</p> <p>○点字ブロック位置、ルートの再考を。車動線から離す等。また、点字ブロックを床版上まで設置してほしい。</p> <p>○身障者用の駐車場配置は現在の場所が最善か検討を。南側一般駐車場の玄関に一番近い場所を身障者用駐車場にして、そこと玄関の間をゼブラゾーンにしてバック駐車すれば良いのではないか。</p> <p>○身障者用の駐車場に、雨天時の配慮として、ゼブラゾーンの上だけでも庇がほしい。介助者も濡れないよう配慮してほしい。</p> <p>○一般駐車場の2箇所位を、妊産婦・身障者・高齢者等の利用として「ほっとパーキングおかやま」としてはどうか。</p> <p>○点字ブロックは敷地内だけだが、前面道路には点字ブロックはないのか。公共手段が少なく自動車来場者が多い地区か。</p>	<p>◎床版は造成事業の範疇になるため担当課に伝えます。担当課で対応できない場合、外構面からの対応を検討します。</p> <p>◎駐車場を集約して点字ブロックと離すといった位置変更は検討可能です。床版上の設置は、関係課と協議させて下さい。</p> <p>◎身障者用駐車場は玄関に近い場所として選定しましたが、検討します。</p> <p>◎玄関ポーチには庇があるため、玄関ポーチに直付けすれば、タクシー等で来る方や介助者同乗の場合は濡れないと思います。</p> <p>◎今回の設計案は、駐車場台数確保に対する地域の強い要望を受けてのものです。再度、案を作って地元と相談します。</p> <p>◎前面道路には点字ブロックはありません。バスやJRのアクセスは便利な地区ではなく、自動車来訪者が多い地区と思われます。</p>

○道路と駐車場で最大35cmの高低差。身障者用駐車場にも勾配があるが、車椅子を置いた途端に勝手に動かないよう配慮をしてほしい。また、床版や敷地入口辺りに、玄関に向かって勾配がある事を知らせるマークを設置してほしい。

～全体～

○コミュニティハウスを下足で使える仕様にして欲しい。下足のまま利用できれば身障者への負担は少ない。公民館では下足利用の所もある。

～安安NW推進室～

○コミュニティ協議会に対して、協議会として身障者や高齢者等への配慮の考えを十分に保持して貰うよう進言してほしい。

○靴の脱着が負担になる人がおり、下足使用について協議会の場で伝えてほしい。

◎検討します。

◎地元意見を集約した設計です。履き替えとしたのは、掃除も含めた維持管理の問題だと思われます。

◎年に1度、協議会の総会があるため、皆様のご意見を伝えます。

◎今後、新築・改築を行う中で、下足使用という形もあり得ることを提示していきます。